



集落を野生動物の餌場にさせない 放任果樹対策

- 近年、集落には、以前は利用していたが、現在は収穫や管理がされなくなった柿の木等が散在しています。このような放任果樹は栄養価が高いため、野生動物にとっては魅力的な餌となります。
- 山では味わえない食べ物の味を覚えた動物は、繰り返し集落に出没するようになります。そのため集落を“餌場”として学習させないように、収穫しない果樹の対策が重要となります。

放任果樹の現状 放任果樹には様々な野生動物が誘引されます



アライグマ



イノシシ



アナグマ



ニホンザル



ツキノワグマ

痕跡 野生動物が放任果樹に目を付けたサイン……早めの対策が必要



枝が折られている果樹



地面に散乱する実



果樹周囲に動物のフン

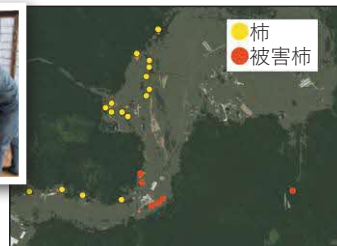
方針を決める

被害状況や要望に沿った対策を実施しましょう

集落にある柿の場所や
出没・被害状況を把握

所有者の意向を確認

地図上に集落内にある**果樹の位置**や**被害状況**をまとめると、被害の分布や対策の効果がわかりやすくなります。



果樹被害マップ例

- ・果樹を利用している
- ・思い入れがあり残したい
- ・対策したいが所有者が解らない…etc

- ・利用していない
- ・伐っても良い
- ・収穫や管理ができない…etc

果樹の管理

必要な果樹はしっかり管理をしましょう

果実の早期収穫

動物の出没がなくても、早めに収穫し、適切に処分しましょう。



収穫前



収穫後

防護対策

収穫や伐採が難しい場合は、トタン板や電気柵を設置して、動物が登れないようにしましょう。



トタン板巻き付け



電気柵の設置

低木管理

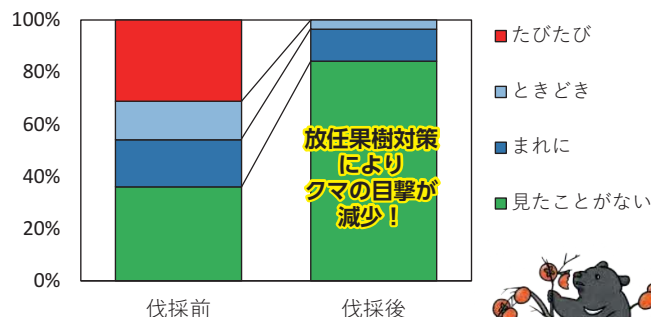
管理しやすい高さに剪定しましょう。

伐採の取組

放任果樹を生まないために

収穫や防護対策が難しい場合は、思い切って伐採することも検討して、放任果樹とならないようにしましょう。

放任果樹対策によるクマ目撃頻度の変化



※高木・大木・伐採予定本数が多い等、個人での作業が難しい場合は、林業事業体や行政機関に相談しましょう。



自治会での取組例



STEP 1.
伐採木の選定
所有者の確認



STEP 2.
放任果樹の
伐採

STEP 3.
枝・幹の
整理

島根県農林水産部農山漁村振興課鳥獣対策室

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL 0852-22-5160

